

予算決算常任委員会報告

委員長 坂本 武人 副委員長 池永 幸生
委員構成 議長を除く全議員

【審議日程】

●平成29年8月31日(木)
予算決算常任委員会(全体会)
質疑及び分科会(総務分科会、文教経済分科会、健康福祉分科会)を設置し付託事件の審査を行うこととした。

●平成29年9月1日(金) から9月6日(水) 予算決算常任委員会(各分科会) 3分科会による審査を行った。

●平成29年9月11日(月) 予算決算常任委員会(全体会) 分科会長報告、自由討議により分科会長報告に対する質疑及び総括質疑事項の選定を行った。

●平成29年9月14日(木) 予算決算常任委員会(全体会)
総括質疑・討論・表決

※なお今委員会においては、初めて行政評価システムを対象に決算審議し、具体的な事務事業について総括質疑を行った。

【総括質疑】

実質収支(不用額)の取り扱いはどうなっていますか?

問 ①不用額増加の要因分析及び予算の適正執行の認識

②低執行率事業の決算時における議会への説明に係る、一律基準の必要性の確認

【分科会】

平成29年度合志市一般会計補正予算(子育て支援課)

問 西合志東小第5・第6学童クラブ室整備に伴い、子ども達への安全性の確保は。

答 子ども達の安心安全を確保するため、関係する機関と協議を行う。

【分科会】

平成28年度合志市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

問 後期高齢者医療の資格証明書の発行件数はどれくらいか。

答 熊本市内では資格証明書は発行していない。短期保険証を20人程度発行している。

【分科会】

平成28年度合志市一般会計歳入歳出決算(福祉課関係)

問 稼働年齢層や若い世代の生活保護受給世帯が増加傾向であるが、保護費を受給せざるを得ない理由は。

答 1番若い世帯で保護を受けている世帯は18歳の単身世帯である。稼働年齢層が生活保護費を受給せざるを得ない理由としては傷病等により働くことができない、また解雇された等の理由で保護申請に至るケースが多く見受けられる。(女性・子ども支援室関係)

問 女性の再就職・復職を後押しする支援として、自立支援プログラムを開催し、6人が受講されたことと成果があがっているが、実際何

健康福祉常任委員会 予算決算常任委員会健康福祉分科会

委員長 西尾 隆博 副委員長 来海 恵子
委員 濱口 正暁 委員 濱元幸一郎
委員 大住 清昭 委員 青山 隆幸

【常任委員会】

平成29年度合志市介護保険特別会計補正予算(第1号)

問 合志市の非常勤専門職の賃金は安いと、募集しても人が来ないのではないか。必要な人員には賃金を上げる必要があると思うが、どのように考えるか。

答 近隣の状況を確認し、格差があれば人事部門とも協議していきたい。

【反対討論】 法定外繰り入れを行い、積み立てられた4億1千万円の基金を活用し、保険税の引き下げを進めていくべきだと考えるため反対である。

【賛成討論】 国保財政が厳しい時に使う基金だと思っているので賛成である。

平成28年度合志市介護保険特別会計歳入歳出決算

【反対討論】 国庫負担の割合を増やして安心して介護が受けられるような制度設計を進めていくべきだと思つので反対である。

【賛成討論】 保険料は、所得に応じて11段階に分かれており、低所得者の方への軽減もある。また、本市は要支援の方にも独自の施策



西合志東小第5・第6学童クラブ建設予定地

もしつかりとやってきているので賛成である。

【分科会】

平成28年度合志市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

問 後期高齢者医療の資格証明書の発行件数はどれくらいか。

答 熊本市内では資格証明書は発行していない。短期保険証を20人程度発行している。

【分科会】

平成28年度合志市一般会計歳入歳出決算(福祉課関係)

問 稼働年齢層や若い世代の生活保護受給世帯が増加傾向であるが、保護費を受給せざるを得ない理由は。

答 1番若い世帯で保護を受けている世帯は18歳の単身世帯である。稼働年齢層が生活保護費を受給せざるを得ない理由としては傷病等により働くことができない、また解雇された等の理由で保護申請に至るケースが多く見受けられる。(女性・子ども支援室関係)

問 女性の再就職・復職を後押しする支援として、自立支援プログラムを開催し、6人が受講されたことと成果があがっているが、実際何

い、学校敷地と一体となるよう道路の付け替えを行うなど、安全性に配慮した建築・運営を行う。(高齢者支援課)

問 みどり館の太陽光設備の修繕が必要とのことだが、月にどれくらいの発電があり投資額はどれくらいで回収できるのか。

答 月額で3万円程度の発電料なので、年間約30万円程度とすると6〜7年で投資額は回収できると見込んでいる。

【分科会】

平成28年度合志市一般会計歳入歳出決算(福祉課関係)

問 稼働年齢層や若い世代の生活保護受給世帯が増加傾向であるが、保護費を受給せざるを得ない理由は。

答 1番若い世帯で保護を受けている世帯は18歳の単身世帯である。稼働年齢層が生活保護費を受給せざるを得ない理由としては傷病等により働くことができない、また解雇された等の理由で保護申請に至るケースが多く見受けられる。(女性・子ども支援室関係)

問 女性の再就職・復職を後押しする支援として、自立支援プログラムを開催し、6人が受講されたことと成果があがっているが、実際何



スリースマイル秋桜 (榎ノ本)

人の方が就労につながったのか。

答 6人中5人の方が就労につながった。

【子育て支援課】

問 就学前の待機児童解消のための今後の対応は。

答 本年度は、新築移転に伴う30人の定員増で1園整備中である。引き続き、認可保育園連盟に老朽化の建て替えに伴う定員増や第2園の建築を打診している。また、企業主導型保育事業に着手したいとの相談もあり、地域枠も設けられるようであれば、待機児童の解消につながるかと考えている。(高齢者支援課)

【後期高齢者の健診受診率はどうのくらいなのか。】

答 平成28年度の受診者は健康診査が955人、人間ドックは102人で対象者が5,860人のため、全体の18%になる。

も少しずつ利用減少の状況にある。今後に関しては、2台のバスの使用が可能な限り存続をする一方、利用減少やバスの更新に鑑み、方向性を決めていく時期にも来ている。事業縮小を検討する場合は、利用者への説明及び理解を得ていく作業が必要と考える。

【生涯学習講座開催事業】

問 ①貢献度評価において成果実績の低下要因及び近年傾向の確認

答 熊本地震からの施設復旧に際し、他所管の類似事業との合理化の有効性及び必要性の有無の確認

問 本事業の成果実績低下の要因は、熊本地震発災により、28年度後期のみ開催となったことによるが、それ以前の傾向としては、利用は増えている状況である。今後は、他部署所管の講座の中で「対象」「意図」など生涯学習講座開催の目的と合致する講座があれば、統合によるスケールメリットが有効な場合、類似する事業の合理化も必要と考える。

【養生園施設整備負担金事業】

問 ①行政評価において低貢献度に留まる要因及び近年傾向の確認

②28年度の養生園利用実績(合志市)と近年傾向の確認

③今後の利用促進に向けた対応策の有無の確認

④負担金割合の傾向予測及び算出基準の妥当性の認識

答 養生園の28年度利用実績は、外来受診で述べ4920人、うち合志市民は194人、特定健診等、一般診療以外の総数は2万8596人で、うち合志市民は7362人となっている。近年傾向としては、外来・健診受診共に受診者総数は伸びているが、合志市民の受診者数は横ばいの状況である。

利用促進策として、健診未受診者対策等を検討するプロジェクトチームを立ち上げたことに加え、病院受診が必要と診断された方へ組合との連携による訪問指導を行う以外来受診の増加につなげたい。

また、負担金割合については、現在「菊池養生園保健組合規約」に基づき平均割25%、人口割75%の算出基準で菊池市と分担している。今後の予測として、菊池市の人口減、合志市の人口増により本市の負担割合は一層増加することが予測されるが、現時点では、構成市の合意の下、「菊池養生園保健組合規約」に基づく支出について算出基準は妥当であると考えている。